

令和5年度 医歯工法プロ ワークショップ「証拠保全のための技術」を開催

医歯工法プロでは、令和5年7月30日（日）に受講生を対象にしたワークショップを開催致しました。

当日は石川県警察本部 検視官室から2名の講師をお招きし、裁判等で証拠として採用される証拠、特に画像に関して、その要点や撮影の注意点を解説していただきました。その後、実際に参加者同士でグループを作って撮影を行い、写真の講評を通じて学習要点を確認しました。



近赤外線カメラで皮下の血管走行を確認できる様子も体験しました。また、皮下出血の画像を見て、経時変化をクイズ形式で学んだり、傷の位置を文章で表現するレポート作成を行いました。

どれも臨床現場で日常的に導入できれば有用なことばかりです。受講生の皆様の学びが職場で実践され、法医学的視点が実務に役立てられることが期待されます。

医歯工法プロでは、今後も講義だけでなく、ワークショップや講演会など様々な企画を通じて、法医学の知識を臨床現場で実践するための取り組みを進めたいと考えています。

